

NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会

入会のお願い

NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10 番 22 号 ニュー新坂ビル 2F

TEL:03-6804-6712/FAX:03-6804-6786

趣意書

ご高承の通り、わが国は世界にも例を見ない急速な高齢化の進展と、それに伴う、生活習慣病(慢性疾患)患者の増大という問題を抱えております。そして、こうした慢性疾患患者の増大は、患者自身の生活の質(QOL)のみならず、医療保険財政に対しても多大な影響を与えております。

まさに慢性疾患に対する取り組みは、患者のQOLの向上と、医療保険財政適正化という双方の観点から、私たち国民にとって喫緊の課題と申せましょう。

骨折や虫垂炎などといった急性疾患の多くは、薬物治療や手術等、医療機関による治療を主体とした対処で解決が可能です。対して、長い経過をたどる慢性疾患では、医学的な治療だけではなく、患者自身が自分の病気を管理する「セルフマネジメント(自己管理)」が重要となります。しかしながら現状は、患者自身を支援する仕組みはほとんどないといっても過言ではありません。

当協会は、こうした慢性疾患患者を支援し、患者自身が力をつけていくことを目的に設立されました。患者が自らをマネジメントし、医療との関わり方、薬の飲み方、ストレスのコントロールなどを学び、安定した人間関係を築くことは、患者の生活の質(QOL)のみならず、医療財源の適正化にも大きく貢献します。患者中心の医療を実現するためにも、こうした観点から、医療の最大の担い手である患者をサポートする仕組みを作りたいと考えております。

当協会が用います「慢性疾患の人のためのセルフマネジメントプログラム(Chronic Disease Self-management Program)」は、米国・スタンフォード大学医学部患者教育研究センター長のケイト・ローリッグ氏をはじめとする研究チームによって開発されました。その内容は、慢性疾患の患者と医師へのヒヤリング調査をもとに検討され、患者が知りたいこと、医師が患者に知ってもらいたいことを具体的にテーマとして取り上げるものとなっております。また現在では、慢性疾患をもった人々が病気とうまく付き合い、自分らしく日常生活を送ることができるように支援するための教育プログラムとして、英国をはじめ世界20カ国以上で、同プログラムの導入がなされています。

ちなみに、このプログラムの効果について同センターは、1,000人以上を対象とした比較試験の結果として、患者の生活や行動の改善、症状の緩和、医療費の抑制のそれぞれに貢献したとの発表をしております。

なお、当協会の設立(教育プログラムの日本導入)の経緯は、以下の通りです。

- * 2004年2月、同センターの視察に赴いた日本製薬工業協会ならびに患者会リーダー有志により、プログラムの日本導入に向けた検討を開始
- * 2005年10月1日、患者、患者団体、医療関係者ならびに医療関係団体などからなる「日本慢性疾患セルフマネジメント協会」を設立
- * 2005年11月17日、特定非営利活動法人設立のための総会を開催
- * 2006年3月28日、東京都より特定非営利活動法人としての認証取得
- * 2006年4月3日、特定非営利活動法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会設立(登記)

今後は、同プログラム等を利用した慢性疾患の自己管理に関する教育指導、普及啓発や情報提供等を行い、当該患者の生活や行動の改善、症状の緩和促進を図り、もって国民の健康保持と健康増進に貢献するための取り組みを一層強化してまいります。

つきましては、何とぞ「NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会」設立の趣旨にご賛同を賜り、定款に定めますところの「正会員」、あるいは「賛助会員」として入会くださいますよう、ここにお願い申し上げます。

NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会

理事長 伊藤雅治

目的と事業の内容

NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会は、慢性疾患を持つ不特定多数の市民に対して、当該患者が充足感のある自立した生活を営むことができるよう、慢性疾患の自己管理に関する教育指導、普及啓発及び情報提供等を行い、国民の健康保持・増進を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的としています。この目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行います。

- ◆ セミナー・講習会等による慢性疾患セルフマネジメントプログラムに関する教育指導
- ◆ ワークショップ、シンポジウム等による慢性疾患セルフマネジメントプログラムに関する普及啓発
- ◆ 教材・資料の制作・発行等による慢性疾患セルフマネジメントプログラムに関する情報提供
- ◆ その他、目的を達成するために必要な事業

NPO 法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会の役員(2015年4月現在)

理事長	伊藤 雅治	(一般社団法人 全国訪問看護事業協会 会長)
副理事長	田中 滋	(慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授)
専務理事	岡谷 恵子	(東京医科大学 医学部 看護学科 副学長／教授)
理事	大熊 由紀子	(国際医療福祉大学大学院 教授)
理事	大平 勝美	(社会福祉法人 はばたき福祉事業団 理事長)
理事	京野 文代	(NPO 法人 日本 IDDM ネットワーク / 薬剤師)
理事	伍藤 忠春	(日本製薬工業協会 理事長)
理事	近藤 房恵	(サミュエル・メリット大学 看護学部 教授)
理事	柴田 雅人	(社団法人 国民健康保険中央会 理事長)
理事	高木 邦格	(国際医療福祉大学 理事長)
理事	松本 義幸	(健康保険組合連合会 参与)
監事	杉山 真一	(弁護士 原後綜合法律事務所)

会員の種類

NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会の会員は、次の4種とする。

- ☆ 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人および団体
- ☆ 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人および団体
- ☆ リーダー会員 この法人のリーダー認定を受け、ワークショップを運営する個人
- ☆ 名誉会員 この法人に功労のあった者または学識経験者で、総会において推薦された個人および団体

会員の会費

NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会の会員会費は、次の通りです。

- | | | | |
|--------|----|-------|---------------|
| ☆ 正会員 | 個人 | 年額 | 10,000円 |
| | 団体 | 年額 | 100,000円 |
| ☆ 賛助会員 | 個人 | 一口 年額 | 5,000円(一口以上) |
| | 団体 | 一口 年額 | 50,000円(一口以上) |

なお、団体による賛助会員会費につきましては、ご事情が許せば、2口以上でのご入金をご考慮くださいますよう併せてお願い申し上げます。

入会の方法

添付の入会申込書に所定事項をご記入の上、事務局まで郵送、またはFAXにてお送りください。年会費については下記のいずれかの口座にご入金ください。念のため、ご記入いただいた入会申込書(コピー)と入金票の控えについては、各自保管していただきますようお願いいたします。後日、会員登録完了のお知らせを送らせていただきますが、入金後2週間が過ぎても協会からの連絡がない場合、FAXの通信エラーや書類の不備などで登録が行われていないことが考えられます。その場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。なお、住所変更の際には速やかに事務局までお知らせください。

〈口座〉

- 三井住友銀行 飯田橋支店 (支店番号:888)
口座番号 普通 6810928
口座名義 特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会

- ゆうちょ銀行
口座番号 00150-5-610191
口座名義 特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会

〈問い合わせ先〉

NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 事務局
〒107-0052
東京都港区赤坂 8-10-22 ニュー新坂ビル 2 階
TEL:03-6804-6712 / FAX:03-6804-6786
E-mail: info@j-cdsm.org
受付時間: 月～金 10:00-17:00

ご寄付について

当協会では、事業を行う上で最低限の経費で運営していけるよう努力しております。しかしながら、受益者の負担を最小にするように努めている関係から、財政状態は豊かではありません。つきましては、趣旨にご賛同いただける個人・団体の方々におかれましては、協会運営の資金としてご支援を賜りたく何卒よろしくご願ひ申し上げます。なお、寄付口座は上記の会費振込み口座と同様です。